

のほへ

主な内容

- 国民健康保険税の税率はどう変わったか…… 2 P
- 日本電子工学院設立委が開校へ向け事務打合せ…… 2 P
- 消費生活安定審議会が初会合…… 3 P
- 昭和62年度をめざす総合基本計画…… 4・5 P
- 市民の声…… 7 P

●No. 305 ●昭和55年7月1日発行 ●発行/北海道登別市●編集/総務部公聴広報課●印刷/中西印刷



市内パレードの登別大谷高校



喜びの記念写真(天使チーム)



市長から激励を受ける体操選手たち

お見事!! 全道優勝二題

ママさんバレーの登別天使 体操の登別大谷高校 全国大会へ出場

六月十四、五の両日、小樽市で開かれた第11回全道家庭婦人バレーボール大会南北海道予選会で、室蘭地区代表の登別天使チームが念願の初優勝を飾り、全国大会への出場権をにぎりました。

平均年齢三十七歳、昭和四十五年結成以来、厳しい練習に耐え抜いてきたママさんたちの優勝に、

市民から温い拍手が送られています。

小樽市総合体育館で行われた大会には、道南、道央各地の予選を勝ち抜いた十九チームが出場しましたが、登別天使は、小樽を2-0で下し、十五日の決勝では平取岩見沢をそれぞれ破り、千歳富丘クラブを2-1で破って、五年連続

十度目の出場で、念願の優勝を手にしました。

十六日、優勝旗を手に報告のため市役所を訪れた大磯克子監督をはじめ、伊勢恵美子主将らは、優勝の感度もまだ冷めない様子で、中浜市長から一人ひとり祝福の握手を求められると、喜びの涙が再びはほを伝っていました。

全国大会は七月三十日から東京で開催されることになっていきます。

一方、剣路で行われた全道高校体育大会の体操で、六月十八日登別大谷高校の男子団体が全道一を決めました。十二年ぶり二度目の優勝を果たした体操チームは「全体がよくまとまり、動きが良かった」と森田肇監督が喜びを語り、十九日早速市役所に優勝のあいさつに訪れた選手たちは、市長から祝福と全国大会での激励を受けました。

そのあと、市内パレードを行い沿道の市民から盛大な拍手を受けました。

7.1 1980

国民健康保険税の 税率は どう変わったか

前回に続きまして、国民健康保険事業にご理解をいただくため、お知らせしていますが、今回は昭和55年度の保険税率はどう変わったのか。また、税率と賦課方式（計算方式）の改正によって、保険税の負担がどのように変わったのかなどについてお知らせします。

区分	昭和54年度	昭和55年度
税	所得割 $\frac{650}{100}$	$\frac{10}{100}$
	資産割 $\frac{55}{100}$ (都市計画税を除く)	$\frac{55}{100}$ (都市計画税を除く)
率	均等割 1人当り 4,500円	1人当り 9,000円
	平等割 1世帯当り8,000円	1世帯当り12,000円
保険料総額	220,000円	240,000円

所得が百五十万円、二百萬円の夫婦と子供一人の計三人世帯の場合、昭和54年度の保険税と比べ低くなっており、他は高くなっています。

この事例は、前年と同じ所得を基礎に計算したものです。他の健康保険と同じように、所得を基準にして一定率を乗じて所得割を算定することにしたことが特徴です。

新しい課税方式は、全国で94%が採用しています。

今年度から改正した所得割の課税方式（ただし書き方式）は、全国で三十七九市町村が採用しているもので、道内三十二市中札幌市など三市のみが、これまでの市民税の所得割方式を採用しているだけです。

その他はすべて、登別市と同じ方式です。

保険税率と負担状況

今年度の保険税率は、第一表の通り変わりました。

市が国民健康保険事業を健全に運営していくため示した改正案にしたがって、今年三月、国保運営協議会、市議会社会常任委員会、ならびに予算審査特別委員会で討議を重ね、本会議で改正されました。

資産割を除き、他の税率が変わ

第2表

（上段夫婦子供一人計三人世帯、下段夫婦子供二人計四人世帯）

給支総収入	100万円	150万円	200万円	250万円	300万円
	千円 1,645	千円 2,359	千円 3,063	千円 3,688	千円 4,313
54年度の保険税	76,100	203,500	220,000	220,000	220,000
55年度の保険税	49,400	150,800	220,000	220,000	220,000
54年度の保険税	115,000	165,000	215,000	240,000	240,000
55年度の保険税	124,000	174,000	224,000	240,000	240,000

注・資産割を除く

納税の義務



保険税の納入は被保険者の義務です。

国民健康保険という事業は、わたしたちの納める保険税と国や道から出される補助金とによってまかなわれ、運営されています。

国民健康保険事業が健全に発展し、わが国の医療保険を通しての社会保障制度が維持されていくには、保険税納入はわたしたちに課せられた義務だといえます。

必ず納期を守って納めましょう

福祉施設入所者への 面会旅費を助成します

市では、今年四月一日から、福祉施設に入所している方の、面会に要する旅費を助成する制度をスタートさせました。

これは、道内の老人福祉施設、精神薄弱者施設、児童福祉施設に入所している方の家族が、面会に必要な旅費について、その世帯の経済的負担の軽減をはかるため、

- 助成の対象者
 - ① 登別市内に住居登録または外国人登録している方
 - ② 登別市以外の施設（道内の施設のみ）に入所している方で、保護義務のある方、またはそれに準ずると認められた方
- 助成の範囲

- ① 市内から入所施設までの区間の国鉄旅客運賃および普通急行料金（片道百キロメートル以上に限る）と接続バス運賃
- ② 年間一家族に対し二回
- 旅費の申請方法

旅費支給を受けようとする方は市が定めた訪問証明書を持参し、施設の証明を受け、申請書に添えて提出してください。
- 問い合わせ先

市福祉事務所保護課庶務係（電話⑤2111内線293）

日本電子工学院設立委が 開校へ向け事務打合せ



事務打合せを行う設立委員一行

市内札内町に昭和57年度開校をめざしている日本電子工学院（本部・東京都太田区西蒲田、片柳瀧理事長）の、北海道専門学校設立委員会のメンバー十一人が六月十二日・十三日の二日間、登別市の現地視察と開校へ向けての具体的な事務打合せのため訪れました。

一行は、稲垣卓治同工学院法人本部長はじめ、平松義雄設立委副委員長ら十一人。

十二日午後、中浜市長、市議会大学等建設促進委員、市関係職員と、学校開設までの事務上の段取りや問題点を話し合いました。

平松副委員長は、「第一期工事として、教室実験棟と本部棟の二棟をまず建設する」と説明、工事のメドを「今年中に基礎工事を終え来春に本格着工、十月ごろには完成させたい」とのべ、早期着手に意欲的な姿勢を示していました。

このあと、一行は市街地から約四、五キロ離れた札内町の学校建設用地（約十八ヘクタール）を視察、地図を手に校舎やグラウンドなどの配置を確かめながら、「さすがに広い土地だ、これなら立派な学校ができる」と感想をのべていました。

また、十三日は室工大など室蘭、苫小牧、登別市内の大学、短大など九校を見学しました。

今後は、工事着手に必要な農地転用など諸手続きの完了に、今年いっぱいかかる見通しから、実際の着工は来春早々になる予定です。



初会合のもよう

消費生活安定審議会が初会合

消費生活の向上を図る目的で、市長の諮問機関として設置された登別消費生活安定審議会の初会合が去る六月六日、市役所で開かれ会長に市議会経済常任委員長の長堀益久さんを選出しました。

同安定審議会は、三月市議会で制定された登別市市民生活安定条例に基づいて発足したものです。

学識経験者と事業者、消費者双方の代表等十人で構成され、①消費者保護、物価の安定対策について市長の諮問により答申する②市の消費生活行政に対するアドバイスを③消費生活にかかわる調査、審議などが主目的となっています。

この日は、各委員が中浜市長か

ら辞令を交付された後、会長に長堀さんを、副会長に市議会経済常任委員長の関川昭雄さんを選出。当初、七月中に各種関係法令の勉強会を開くほか、近隣自治体の市場視察も行い、登別市内の商店との価格実態を比較することにしました。

千歳線・室蘭本線電化開業に伴う鉄道防害事故の防止にご協力ください

千歳線、室蘭本線の電化工事は10月1日開業をめざし鋭意推進されていますが、7月中旬にはいよいよ電気が通ります。

今回の電化では交流二万ボルトという特別高圧が加圧されますので、万一接触しますと感電事故につながり、変電所の電気をストップさせることとなります。

また、架線にビニールやタコが引っかかりますと、電車のパンタグラフを破損させ、運転不能となりますので、次のことには十分気をつけてください。

- ◎線路近くで魚つりやタコあげはしない。
 - ◎陸橋やこ線橋の上から放尿したり、ヒモやナワ、テープなどをたらしたりしない。
 - ◎つり竿、スキートなど長いものを持って架線の下を通る時は必ず横にして通る。
 - ◎架線にむかってホースで水をかけたりしない。
 - ◎使用済みのビニールや包装用のヒモなどの後始末には十分気をつける。
- さらに、踏切ではグンブの荷台

を下げておいたり、積載高さの制限を越えて侵入しますと、架線に損傷を与え、送電ストップや架線切断の重大事故となります。

函館本線では、昨年17件の踏切での架線事故があり、そのうち一件は列車の運休も出る大事故でした。

すでに千歳、室蘭線の工事区間でも三件の踏切注意標の破損事故が発生していますので、上部の制限高さは十分に守ってください。

なお、電車線路としては、踏切の手前に四・五尺の高さの注意標を設備して事故防止に努めています。

行政相談委員をご存知ですか

行政相談委員とは

行政相談委員は、役所と地域住民のパイプ役として役所に対する苦情、要望、意見などをお聞きして改善を図る仕事をしています。

例えば、恩給、年金、登記、保険、農地、郵便、道路、河川、公害などの役所の仕事について、このようにしてほしい

- ◎説明に納得できない
- ◎処理がまちがっている
- ◎どうすればよいか分からない
- ◎処理がおそい
- ◎不親切な扱いを受けた
- ◎思ったことはありませんか。

行政相談委員は、みなさんのためにこんな活躍をしています。

電話の早期設置
(申し出要旨)

申し出人の両親は、老夫婦

中小企業の特別融資の説明会開きます

市では、中小企業の育成助長と経済的地位の向上をはかる目的で融資制度を設けていますが、今日の激動する経済環境のなかでは、企業運営に大変な努力とご苦労が必要であると思います。

企業の安定に苦心している中小企業の方々に対象に、融資制度の説明会を開き、少しでもお役に立てていただきたいと思っております。ぜひご出席ください。

◎日時・場所

7月14日・登民会館 10時から12時まで・登別温泉公民館 14時から16時まで

7月16日・商工会館 10時から12時まで・鷺別公民館 14時から16時まで

その他くわしくは、市商工振興課(電話⑤2111)内線256) または商工会議所(電話⑥4111)へお問い合わせください。

去してほしい。

(処理概要)

二人だけで暮らしており、電報電話局に電話設置を申し込んだところ、日数がかかると言われた。しかし、老人世帯でもあり、必要なので一日でも早く電話を設置してほしい。

委員は、警察署と土木現業所に申し出要旨を伝えたところ、土木現業所ではさっそく、持主が千葉県に居住していることを確認した上で自動車を撤去した。

このように、行政相談委員はみなさんの身のまわりにある問題、疑問を解決する相談相手として活躍しています。

相談する方法は

役所の仕事について苦情、意見をお持ちの方は、どんな小さなことでも行政相談委員にご相談ください。親身になってお話しいたします。

相談する場合は、行政相談委員に直接申し出られても結構です。電話または手紙でも受け付けます。

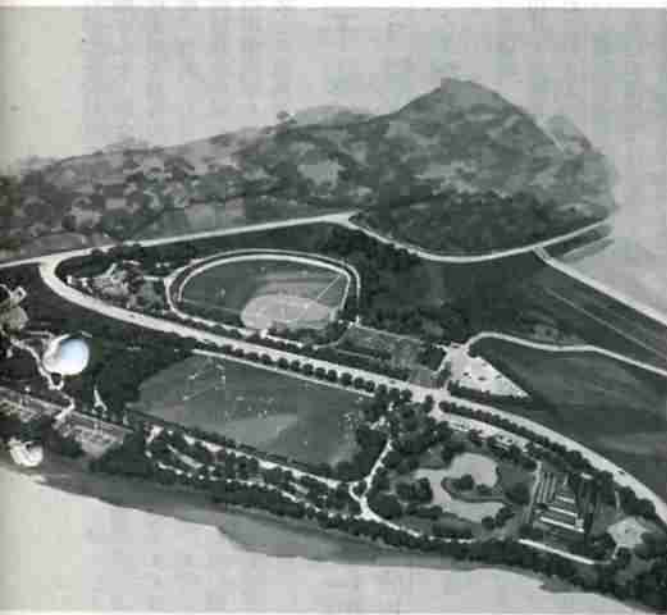
登別市担当の行政相談委員は、高野定治(市内富士町1-19)2電話⑥2649)です。



注意しましょう。

性を秘めた青年都市＝登別市＝

す総合基本計画



想図

昭和四十七年十二月に総合基本計画を策定、本年度を目標年度に都市づくりを進めてきましたが、スタートした翌年の四十八年秋、オイルショックに見舞われ、高度経済成長から一転、低成長下におかれてしまいました。

スタート早々、マチづくり計画も修正を余儀なくされたわけですが、こうした経済、社会情勢の変動を踏まえ、新たな計画の策定に当っては、昨年の十一月末以来、「豊かな自然資源を活用し、多面的な性格を備えた複合都市の建設」

恵まれた自然を活用

昭和四十五年、町制から市に昇格して、ことし八月で市制施行十周年を迎える登別市です。この間、石油危機を引き金とした経済・社会情勢の動揺にもかかわらず、恵まれた土地を有効に活用、発展を続けて現在、人口五万七千人と道内の中堅都市に躍進しました。市誕生からわずか十年の青年都市であり、公共下水道整備など都市基盤づくりで立ち遅れがありますが、レベルが敷かれた学園都市建設構想など豊かな発展の可能性を秘めているといえます。市では市内情勢の変化に伴い、郷土建設の新たな見直しが必要となったため、本年度を初年度とし昭和六十二年度を最終年度とした八カ年計画による登別市総合基本構想・基本計画の策定作業を進めてきました。

「をテーマに精力的な準備作業に取り組んできました。まず、計画の基本課題として①長期的視野に立った都市基盤づくり②健康で快適な住みよい生活都市づくり③安心して暮らせる社会福祉都市づくり④豊かな人間性を育てる教育文化都市づくり⑤市の発展を支える産業基盤づくりの五本柱を据えています。

また、計画達成後の市の基盤を支える主要指標としての人口は、現在の五万六千人から二万人増の七万六千人を見込んでいます。以下、将来の都市建設の主な内容を紹介しますと……。

これまで、登別市は、市章に示されている通り「観光」と「工業」を二本柱にマチづくりを進めてきましたが、新たに札幌地区を拠点とした学園都市建設を三本柱の一つに加えました。特に学園都市構想は、広大な土地を持つ登別市にとって、豊

石油燃焼器の技術講習会 ご案内

- 講習の対象
石油燃焼機器の設置および点検整備（販売）業務に従事している方
- 開催の日時・場所
9月1日から3日までの三日間
室蘭市文化センター
- 申込み書の請求先
市消防本部または支署（出張所）
- 申込み書の提出先
市消防本部または室蘭市消防本部
- 申込み書の締め切り
7月23日まで
- 受講料
一万二千元（教材費を含む）

防止しよう!!

集合住宅のプロパンガス事故

- 最近起きているアパート等集合住宅のプロパンガス爆発事故は、第三者に大きな被害を与えるため、問題となっています。集合住宅では、もれたガスが他の家へ侵入するため、ガスもれ箇所が見つからず、適切な措置ができません。
- そこで、ガスもれ警報器を設置して、早期発見に心がけるほか、次の点に注意してプロパンガス事故を防止しましょう。
- 集合住宅では、他の家からガスが侵入する恐れがあります。
- ガスの臭いを感じたときや、自宅のガスもれ警報器が鳴ったとき自宅のガス設備を調べて異常がないからといって、うやむやにしないようにしましょう。
- 特に警報器の故障とまちがって、警報器を取りはずさないようにしましょう。
- 少しでも異常があると思ったらときは、販売店に連絡するとともに居住者全員に連絡し、協力して他の家に異常にないかどうか確かめましょう。
- また、確かめるとき、留守宅または空室があるときは、管理人または所有者の立会のもとに室内を確かめましょう。
- すべての家を確かめるとき、ガスもれ箇所を発見できないときは、販売店に連絡し点検してもらいましょう。
- ガスもれ箇所を発見したときは、全室の窓を開けて、室内からガスを出し、販売店に連絡し点検してもらいましょう。
- 以上の措置が終るまでは、絶対に火気を使用しないようにしましょう。また、コンセント、換気扇等は絶対に使わないようにしましょう。

豊かな発展の可能性

昭和62年度をめざ

進む学園都市構想



幌別ダム下公園完

業として、老人福祉センターの
来年オープンをめざし、特別養
護老人ホームの建設助成、高齢

かな可能性を秘めたプランです。

札幌地区への進出を表明してい
る日本電子工学院と日本航空学園
については、着々と開校へ向け作
業が進んでおり、実現することに
よって市内商工業ははじめ、文化、
教育の各分野へ計り知れない波及
効果をもたらします。

また、恵れた自然資源を活用し
て将来の水資源確保。温泉地の地
理的特性を生かし、地熱開発にも
取り組めます。

快適な生活をめざし、当面最も
市民要望の強い公共下水道事業に
五十六年度から着手、六十二年完
成の一期工事に乗り出します。

また、上水道の拡張も下水道同
様に見逃ごせない緊急課題。この

ため本年度から拡張事業計画がス
タートします。

整備不足が指摘される公園計画
としては、幌別ダム周辺を含むダ
ム下総合公園（郷土資料館、野球
場、テニスコート、ボート遊覧池
子供の国等）、都市公園十カ所の
建設を予定しています。

高齢化社会への対応が課題とな
っていますが、社会福祉の目玉事

者福祉事業団の設置などを推進
します。

都市発展の原動力となる産業、
経済の振興について、まず千歳、
新栄町に新工業団地造成と企業
誘致を図り、幸町にトラククタ
ーミナルを建設。他市への購買
力流出防止のため、商店街再編
成、協業化による魅力ある街を
形成します。

総合計画 骨子

- 一、長期的視野に立った都市基盤づく
- り
- 一、健康で快適な住みよい生活都市づく
- り
- 一、安心して暮らせる社会福祉都市づく
- り
- 一、豊かな人間性を育てる教育文化都
- 市づくり
- 一、市の発展を支える産業基盤づくり



開校へ一歩進めた日本電子工学院設立委の現地視察のもよう

愛の手で築く 非行のない社会

社会を明るくする運動
7月1日～7月31日

今年で三十回目を迎えた「社会
を明るくする運動」が、七月一日
から七月三十一日までの間、全国
一斉にはじまりました。

登別地区でも、青少年非行防止
市民大会、映画会、婦人懇談会等
の行事を展開しますので、多くの
方の参加をおねがい致します。

なお、この運動は、みなさん一
人一人が、それぞれの立場で力を
あわせ、犯罪のない明るい社会を
築こうとする全国的な運動です。
この点を十分ご理解いただきま
して、積極的な御協力をおねがい
いたします。

なお、期間中の行事内容等につ
いては、チラシを配布しお知らせ
いたしますが、くわしくは、登別
地区実施委員会（登別市福祉事務
所福祉課、電話⑤2111内線2
91）へお問い合わせください。

郵便局からお知らせ

●今年の暑中見舞用はがき（二種
類）は、7月1日発売です。
お求めの方は早めに購入してく
ださい。

夏だよりは暑中見舞用はがきを
ご利用ください。
●手紙作文コンクール作品募集

●募集の区分①小学校低学年（一
年～三年）②小学校高学年（四
～六年）③中学校の各部
●応募のきまり①作品は手紙文に
限ります②長さは四百字詰原稿用
紙五枚以内③本人の作品で未発表
のもの④作品には題名、氏名（ふ
りがな）学校名、学年、学校の住
所、配達を受け持つ郵便局名を書
いた応募券をつける⑤応募作品は
お返ししません。また、入賞作品
は主催者（郵政省）が自由に使用
することができるとします。

●作品の応募先
学校の所在地の配達を受け持つ
郵便局
●しめきり 昭和55年7月19日
●発表 昭和55年10月に行い入
賞者に通知します。

●お年玉賞品の引換はお早く
昭和55年度お年玉つき年賀はが
きの賞品との引換えは、7月21日
までです。まだ賞品を受け取って
いない方は、もう一度番号を確か
めて最寄りの郵便局にお申し出く
ださい。

1等	コンパクトカメラ	A 組	063102
		各組共通	622727
			548146
			739122
2等	ポケットカメラ	A 組	下5けた 01340
		各組共通	下5けた 55111
3等	手紙セット	各組共通	下3けた 577・692
4等	お年玉切手シート	各組共通	下2けた 41・61・81



再びリフォームがさかんに

省エネ、省資源が叫ばれている昨今ですが、女性のおしゃれをしたい願望は変わりません。いま、再びリフォーム（作り直す）が、見直されています。生まれながら持っている女性の特性、裁縫の技術を生かして、流行おくれの衣類を今に合わせて仕立てる楽しみ。すぐに作って着ることで、簡単に捨てたりせず上手に再利用。外出着に仕たてて街を歩きます。新しいものを作る楽しみが魅力。リフォームが見直されています。

初の婦人大学開講

時代に適應できる豊かな婦人をめざそうと、初めての婦人大学講座が初まりました。コースは、茶道、市民生活、家庭教育、食生活と健康、コミュニティと婦人の5



コースで定員五十名。おむね月一回で十二月まで続けられます。積極的に参加したご婦人たち、市民生活コースの講義では、熱心にメモをとるなど意欲が十分うかがわれます。担当の市社会教育課では成果を期待しています。

テニスに人気集中



市体育振興課では、婦人にスポーツの楽しさを味わってもらおうと婦人スポーツ教室を開いています。種目はテニス、水泳、バドミントンで、婦人に一番人気が集まったのが軟式テニス。週一回、二時間の教室で、九月末まで続けられます。最後まで頑張ってください。

魅惑のコーラスグループ

「登別フィメールコール」の発足10周年記念音楽会をひらきます

市内のおかあさん達で結成している、登別フィメールコール（旧登別女声コーラス）の発足10周年記念事業として、室蘭、登別のコーラスグループを招き音楽会をひらきます。みなさまお誘いあわせのうえ、多数ご来場ください。

◎日時 7月12日（土）13時30分
◎会場 登別市婦人センター
◎入場料 一般二百円、中学生百円、小学生は親と同伴のうえ入場してください。
◎後援 登別市教育委員会、文化協会。

7月6日 心のふるさと

民謡を聞きますませんか

第11回登別民謡連合会発表会

登別市文化協会民謡連合会では、会員による民謡発表会を次の通りひらきます。みなさまお誘いあわせのうえ、多数ご来場ください。
◎日時 7月6日（日）

昼の部 11時開場
夜の部 17時開場
◎会場 中央公民館2階ホール
◎入場料 五百円
◎後援 市教育委員会・文化協会 社会福祉協議会

第4回道民芸術祭

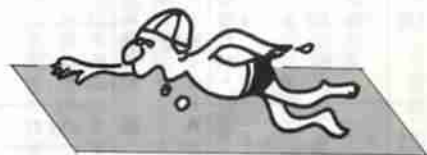
胆振芸術祭俳句大会おしらせ

◎日時 昭和55年8月24日（日）
午前10時30分受付、11時30分投句締切り、12時開会、16時30分全体終了

一人一句大会当日受付
◎入賞 十五位（予定）
◎参加申込 7月31日（期限厳守）
返信用ハガキ使用

◎会場 豊浦町生活改善センター
◎会費 当日会費五百円（昼食、写真代）、懇親会費（千円）いずれも当日申し受けます。
◎席題 当季雑詠（未発表作品）

◎事務局（申込先）
虻田郡豊浦町字船見町百番地
豊浦町生活改善センター内
豊浦町教育委員会社会教育係
電話01428-312239



水の事故を防ぎましょう

暑い夏がやってきました。例年、水の事故が発生する季節です。次のことを守って水難事故を防ぎましょう。

●子供の水難事故防止

●危険な川や池などで水遊びをしないよう、日頃から子供に言い聞かせておきましょう。
●子供がいつも遊びに行く場所を知っておき、子供たちだけで水辺に行かないようさせましょう。

●子供の危険な水遊びを見かけたときは、みんなで注意してやめさせましょう。

●海水浴に伴う水難事故防止

●海水浴は、必ず指定された海水浴場でしましょう。
●海水浴場以外の場所は、急な深みになっていることがあり、危険です。あらかじめ、風が強い日のつりは危険です。

●荒天のおそれがあるときは中止しましょう。

●磯つりは足元が不安定なことが多いものです。
●足元には十分注意して行動しましょう。室蘭警察署外勤課

初心者手話講習会



手話サークル「登別手話の会」では、第四回登別市民手話を知る会を開き、一般市民を対象とする初心者手話講習会を実施します。

この講習会は、当手話の会が、地域活動の一環として行うもので一人でも多くの人々と、手を通して、手をたずさえ、力をつけあい遅れたろうあ者の福祉向上と、相互の連帯感を深めることを目的に開催されるものです。

対象者は、年齢、性別を問わず中学生からお年寄りまで多数の方の参加をお待ちしています。

◎日時 昭和55年7月6日 (日)午後1時から

◎場所 労働福祉センター2階ホール(市民ブール横)

◎内容 講演、映画、手話実技指導、体験談発表など

(託児室あり)

くわしい内容については、登別温泉町60番地、浜田一夫(電話④23337)へお問い合わせください。

市民の声

昨年の十一月頃、幌別川に鮭がのぼったというのを、ご存じでしょうか。

流し汁で白く汚染された水の中ではありませんが、子孫を残すために一生懸命にさかのぼってくるのです。彼等にも生きる権利があるのではないのでしょうか。

残念ながら、私たちの住んでいる地区には、下水道はありません。いつになったら、下水道が敷かれるのでしょうか。

終末処理場もできないと、川は汚水でいっぱいとなり、死の川になってしまいます。早くきれいな川を取り戻し、鮭

たくさんぼるようにしてください。(市内新川町四丁目二十一番地 岩城 巖さん)

登別市の公共下水道事業は、馬川を中心とした新川町、富士町中央町を、第一期実施計画区域として、昭和五十六年度から着手するよう、現在事務を進めています。

終末処理場もあわせて、昭和六十二年度を完成予定としています。実施にあたっては、区域内のみならずご協力が必要となりますので、よろしくおねがい致します。

(土木部開発課) 私は女性の多い職場で働いている主婦です。同じ職場に生活保護を受けながら働いている母子家庭の方がいますが、私共、零細企業のため共働きで、やっと生活しているものと比べ、着る物、食べ物などかなりせいたくしていると思います。

そして、家にいると市の人かき登別中学校は、昭和二十二年五月十五日に三学級百十五名で開校当初、登別小学校に間借りしていましたが、昭和二十四年五月一日に木造の独立校舎として、国道36号線に面して竣工しています。

現在位置に鉄筋コンクリート二階建校舎ができたのは、昭和三十八年七月二十一日でした。生徒数は今年五月一日現在で、三三七名です。

同校の教育目標は、①正しく判断し行動する。②強い意志をもってやり通す。③進んで創造する。の三点です。

教育の原点は「人間の心を育てる」にある。という理念に基づいた家庭と学校との連携による、「あいさつ一歩運動」。ゆとり、充実の学校生活をめざす「みつわタイム」。そして、先生方の熱心な研究活動が同校の大きな特色です。

あいさつは心を開かず人間関係

足の分を支給し、世帯の自立を助ける制度です。したがって、ご指摘の点は十分調査致し、不適当な事実があった場合は厳重に注意等を行ない御意見のような状態を無くするよう指導を強めてまいりますのでご了承ください。

居住要件をつけてはというご提言ですが、国の制度の中で登別市だけが居住要件を定めることはできないので、ご了承ください。今後、お気付きの点がありましたらご連絡いただきたいと思います。(福祉事務所保護課)

「市民の声」の欄への投書には必ず住所、氏名、電話番号の記入をおねがいいたします。匿名希望の場合は、その旨をお知らせください。

生活保護制度は、生活保護法という国の定めにより、資産、能力扶養等あらゆるものを活用しても最低限度の生活が維持できない時に、その必要の度合に応じて、不

「市民の声」の欄への投書には必ず住所、氏名、電話番号の記入をおねがいいたします。匿名希望の場合は、その旨をお知らせください。

生活保護制度は、生活保護法という国の定めにより、資産、能力扶養等あらゆるものを活用しても最低限度の生活が維持できない時に、その必要の度合に応じて、不

「市民の声」の欄への投書には必ず住所、氏名、電話番号の記入をおねがいいたします。匿名希望の場合は、その旨をお知らせください。

生活保護制度は、生活保護法という国の定めにより、資産、能力扶養等あらゆるものを活用しても最低限度の生活が維持できない時に、その必要の度合に応じて、不

「市民の声」の欄への投書には必ず住所、氏名、電話番号の記入をおねがいいたします。匿名希望の場合は、その旨をお知らせください。

生活保護制度は、生活保護法という国の定めにより、資産、能力扶養等あらゆるものを活用しても最低限度の生活が維持できない時に、その必要の度合に応じて、不

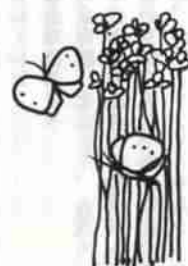
「市民の声」の欄への投書には必ず住所、氏名、電話番号の記入をおねがいいたします。匿名希望の場合は、その旨をお知らせください。

生活保護制度は、生活保護法という国の定めにより、資産、能力扶養等あらゆるものを活用しても最低限度の生活が維持できない時に、その必要の度合に応じて、不

「市民の声」の欄への投書には必ず住所、氏名、電話番号の記入をおねがいいたします。匿名希望の場合は、その旨をお知らせください。

短歌

登別歌人会作品



木村いさお
物置の釘にかかれる麦わら帽
とればありし日の臭い残れる

渡辺 澄江
少しづつ膨らみもてる庭土を
掘ればゆびより春のこぼるる

佐藤 京子
花明りして君子蘭は咲きており
植え替えくれば友いま病むに

川西久米子
うとまじきわが性格を吾娘に見
て叱ったあとの朝の陽まぶし

南 恵子
心閉ざす一日を終えて灯の下に
孫の写真の笑顔に和む

山下 静
酒好きの夫に連れ添い十余年
酒のうまみはまだまだ知らざり

中村理津子
久々に酒酌み交し吾と息子の
心のきずな確かめし夜

三本福四郎
ひとときは止めし煙草を吸う夫
をとがめ得ずをり職退きし今は

小林 房子
お互いに愚痴言い合うも風の中
蓬それぞれ摘みためながら

和泉 寿美

心を育てる 教育めざす

登別中学校



学校めぐり ⑮



昨年7月の1年生の宿泊研修

